



HINATA BOKKO vol.2

1. 観察のご報告

場所 Good job!センター香芝

奈良県香芝市下田西2-8-1
事業形態…生活介護(14名)・就労B(10名)
就労A(10名)就労移行(6名)



日時 2018年3月12日(月) 10:00~14:00

メンバー 飯塚(あおぞら園)・服部(あおぞら園)・尼子(時のわらし)
松田(時のわらし)・川田(ばれっと)・青木(ビレッジ)
北代(あくと)・室本(ほっち) 計8名

目的 ユニバーサル拠点事業や共生社会へのヒントに。

観察先選定の理由…全国的にみても先駆的な取り組みをしており、障害のある人とともに社会にある課題について(理解/仕事/機会/支援者の問題…など)数々の新しい切り口で推し開いている法人・事業所であるから。

費用 見学料…16,000円(8名分) 交通費(高速代・ガソリン代)…10,888円(2台分)

資料 Good job!センターのみどころ・パンフレット/たんぽぽの家のご案内

セレクトショップ

全国の福祉施設、障害のある作家、センターにて制作されたグッズを販売。



委託手数料…30%
買取手数料…40%



工房
3Dプリンターレザーカッター
高性能ミシンなどの最新機器を使ってオリジナルグッズを作成。利用者の特技・能力希望に沿って作業工程や役割を作る。
地域(行政)のイベントとタイアップしたり、地域に根差した商品企画も行っている。
例) 相撲グッズ(香芝一相撲発祥の地)
例) 中川政七商店とのコラボ張子



KASHIBA

たみ
くど
さん
ろん
！
が



ストックルーム
全国のグッズ3000点を管理。
データ管理や収納BOXを工夫し、利用者でも取り扱えるようわかりやすくしている。
最適なBOXの形式やそれに合わせた棚作りなど、環境づくりから専門家をいれて検討。
商品管理は中川政七商店(奈良)を視察、アドバイスの元、検討を進めている。



カフェ

「店員さん」は利用者に人気のお仕事。接客の他コーヒー豆の仕分けやPOPもお仕事の1つ。フードコーディネーターとコラボして開発されたホットドッグが看板メニュー。グッズ展開もされている。



他にも…

案内送付作業、POP作り、インスタグラムの投稿、商品の写真撮影、見学者への説明…興味のある利用者には任せてみて、仕事として取り組んでいただいている。センターの構造段階から、専門家(デザイン、建築、照明デザイン、家具職人…)とスタッフ、利用者が共同して「場所の使われ方」どんな人がどう過ごすのか?を熟考しながら進められた。



カフェの外にはゆっくりと落ち着ける縁側がある



ショップの棚は組換自由



相撲をモチーフにしたグッズ



Good job!センター(奈良 香芝)

2. 講演会のご報告

テーマ みんなで考えるユニバーサル啓発講演会

介護福祉士を持つ理容師から学ぶ
～ユニバーサルへの必要な目線、ちょっとした工夫～

場所 明石市生涯学習センター学習室704

明石市東仲ノ町6番1号アスピア明石北館

日時 2018年3月3日(土) 10:00~12:00

内容 第1部「共生社会ホストタウン」について

講師 山田 賢氏(明石市福祉総務課障がい者施策担当課長)

明石市が東京オリンピック・パラリンピックを契機として「心のバリアフリー」を推進するための共生ホストタウンとして登録されたことを紹介される。共生ホストタウンとは何か?ユニバーサルデザインや共生社会の説明、そして明石が「やさしいまちづくり」をめざし取り組む事を伝えられる。



※松本氏よりパネラーから事前に聞いた「障害当事者の困りごと」発表視覚障害の方より、明石駅西側スクランブル交差点の歩行が困難のこと、聴覚障害の方からは聞こえないゆえの不便さ、発達障害の方からは言葉で話されると理解しにくいなどの話などが紹介された。



第2部「商圈を広げられる?誰もが利用できる理容店の構築」

講師 福永純一 氏(Weathercock-風見鶏-代表)

パワーポイントを使用しての講演。自己紹介からユニバーサルデザインの説明、実際の理容店におけるバリアフリー度の紹介があったあと、自身の思いや取り組みの内容の報告をされ、それによる効果や成果についてお話をあった。終了後質疑応答を受けていただく。

第3部「講演を聞いて~パネルディスカッション~」 進行 松本将八 氏(135Eネット NPO法人ごくまくらぶ理事長)

最初の講演準備時間があった「困りごと」の追加のコメントをいただく。最初の説明をさらに詳しく話す方、新規のお話などがある。視覚障害の方のエスコートゾーンや聴覚障害の方の駅の電光掲示板だけでは足りないところなど詳しくお話を頂いた。一方で身体障害の方からもあったが、十数年前からすれば、設備的なバリアーは改善してきたが、ソフト面が課題などの話などもある。それには、以前「お手伝い」の声掛けに対して偉そうに断った失敗談なども加わり、心の行き来の必要性の話が加わった。山田氏からは自分が少数派に入ればどう考えるかなどのまとめたコメントもあった。

その他「グラフィックデザイン」

グラフィッカー やましの 氏

大塚先生の紹介で参加、話の内容をアートにされ、見て分かりやすく楽しい物に仕上げられる。



3. オブザーバーのご紹介



国立明石工業
高専専門学校

ユニバーサルデザイン
事業のオブザーバー

大塚 毅彦 教授